

愛媛県

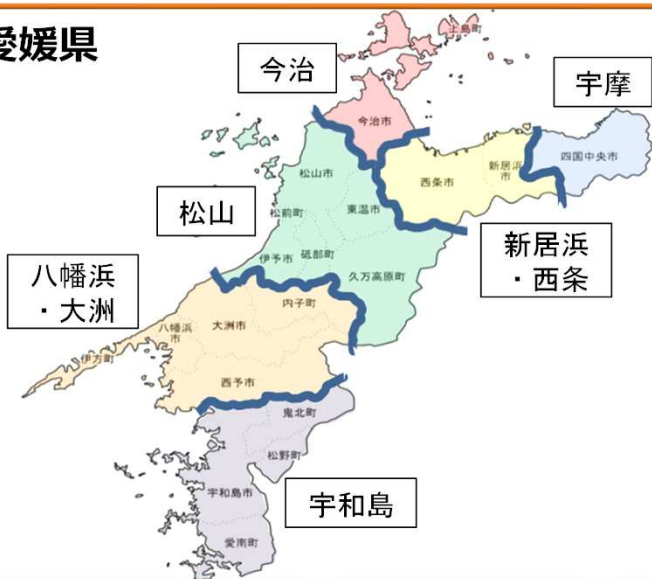
愛媛県地域医療構想

～2025年、県民安心の愛媛医療へ～

資料概要：愛媛県では、人口減少・高齢化が進展し、医師をはじめとする医療資源の偏在や医師の高齢化などの課題に直面しているところである。その中で、県内に6つの構想区域を設定し、平成28年3月に地域医療構想を策定した。今後は、地域医療構想に基づき、地域医療構想調整会議での議論を重ねることにより、効率的で効果的な地域の医療提供体制の構築を図りたい。

1 都道府県及び構想区域の基礎情報

愛媛県



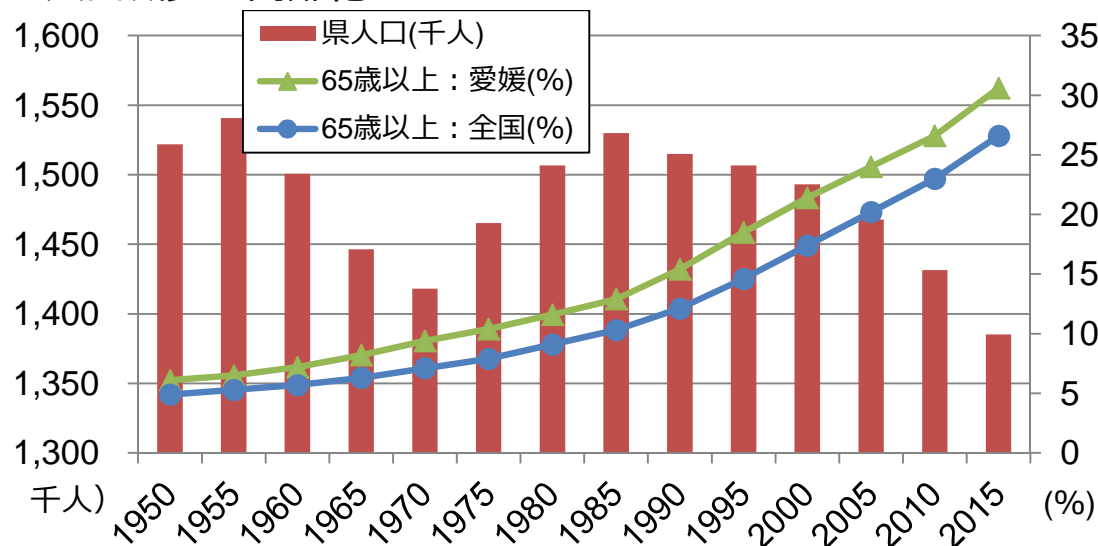
構想区域	人口	市町村数	報告対象 病院数	公立病 院	公的医 療機関 等	その他	報告対 象有床 診療所	医師数	人口10 万対
宇摩圏域	87,413	1	9	0	2	7	6	150	173.1
新居浜・西 条圏域	228,077	2	19	2	2	15	15	462	203.7
今治圏域	165,249	2	29	1	2	26	25	322	196.3
松山圏域	646,055	6	46	4	5	37	96	2,264	351.5
八幡浜・大 洲圏域	144,324	5	13	4	1	8	13	283	199.9
宇和島圏域	114,144	4	11	6	1	4	19	264	224.9

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数								2025年病床数の必要量				
	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働 病棟	未報告	合計	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	合計
宇摩圏域	10	452	174	401	108	108	0	1,145	51	317	294	217	879
新居浜・ 西条圏域	44	1,711	276	823	277	258	0	3,131	196	826	677	648	2,347
今治圏域	23	1,389	213	764	37	55	0	2,426	119	682	708	430	1,939
松山圏域	2,077	3,042	1,001	2,668	304	318	未報告 13 エラー 134	9,239	781	1,995	2,067	1,836	6,679
八幡浜・ 大洲圏域	0	1,028	235	614	0	0	0	1,877	59	486	693	443	1,681
宇和島圏 域	30	1,049	281	563	177	177	0	2,100	120	418	454	305	1,297

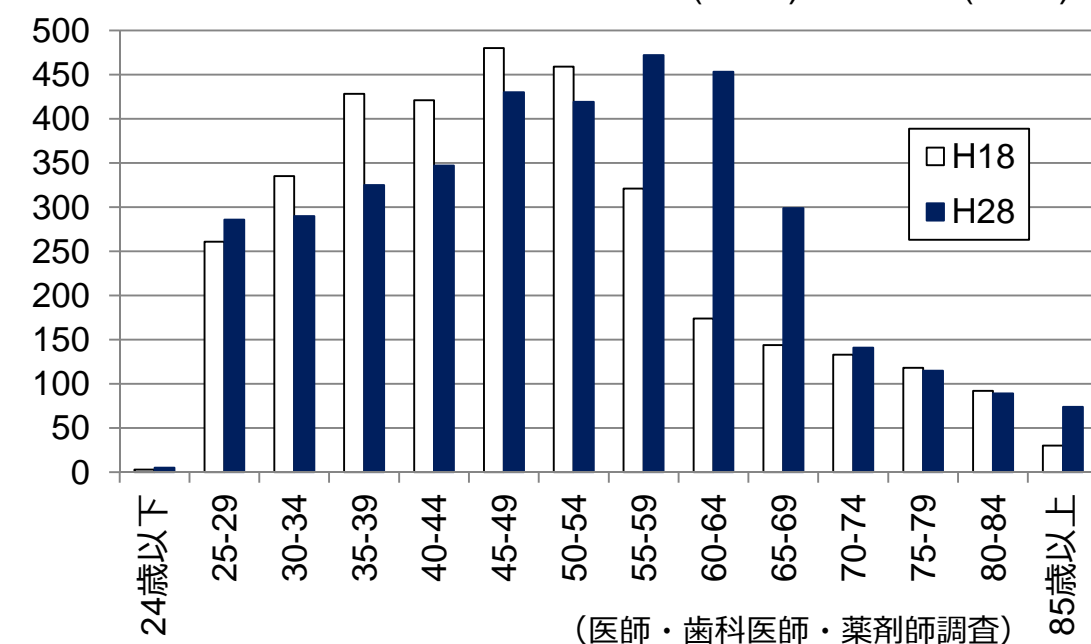
※H29年12月末時点

2 愛媛県の特徴

■人口減少・高齢化



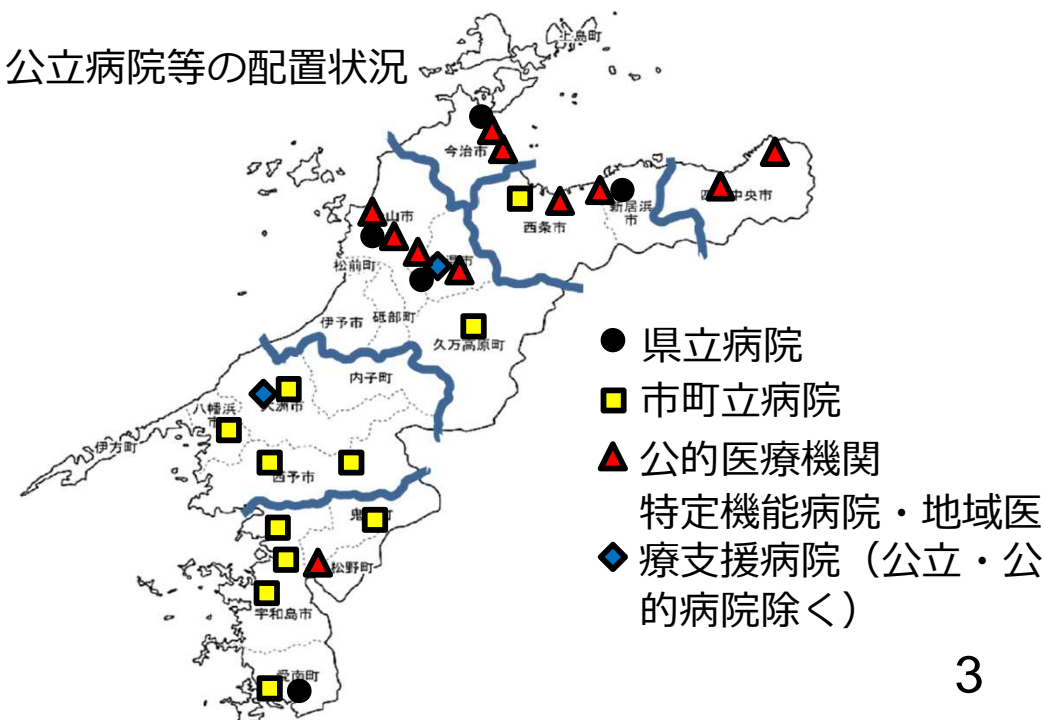
■医師の年齢構成 (平均年齢：49.1歳(H18)⇒52.1歳(H28))



■医療施設の配置状況 (医療施設調査)

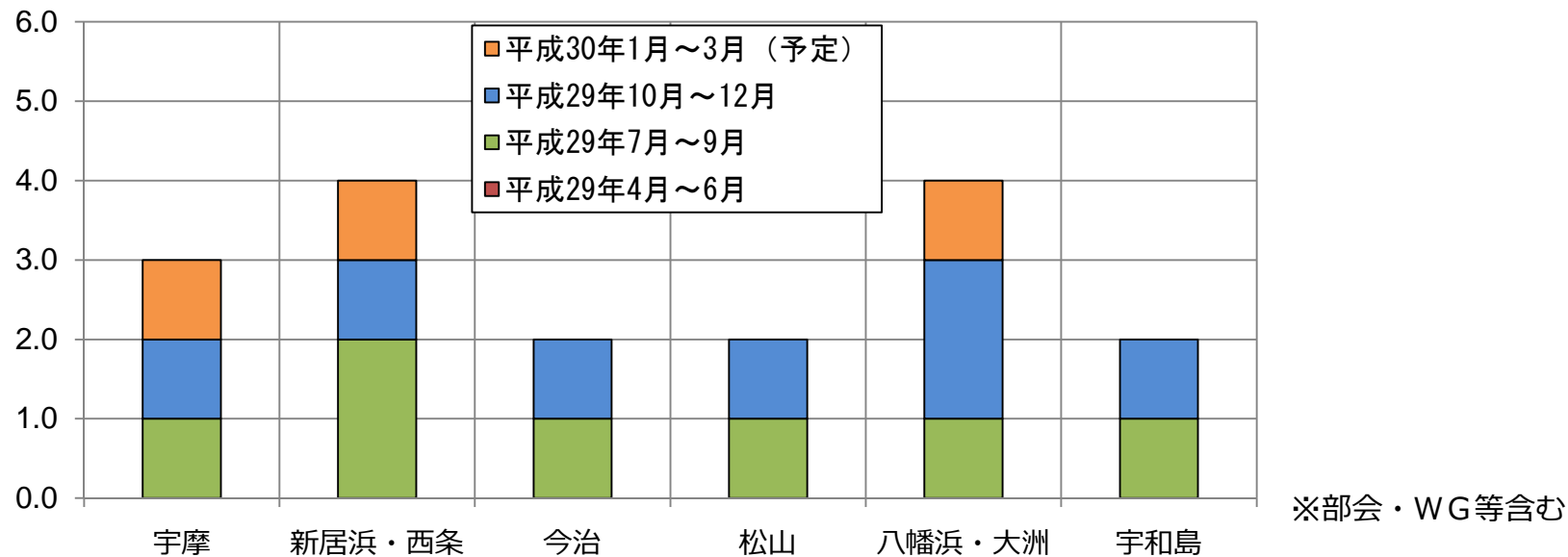
	病院数		一般診療所	
	施設数	人口10万対	施設数	人口10万対
宇摩	9	10.3	55	62.9
新居浜・西条	22	9.6	190	82.9
今治	30	18.2	118	72.6
松山	52	8.0	596	92.4
八幡浜・大洲	16	11.1	171	118.5
宇和島	13	11.4	120	105.1
県	142	10.3	1,250	90.4

■公立病院等の配置状況



3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）

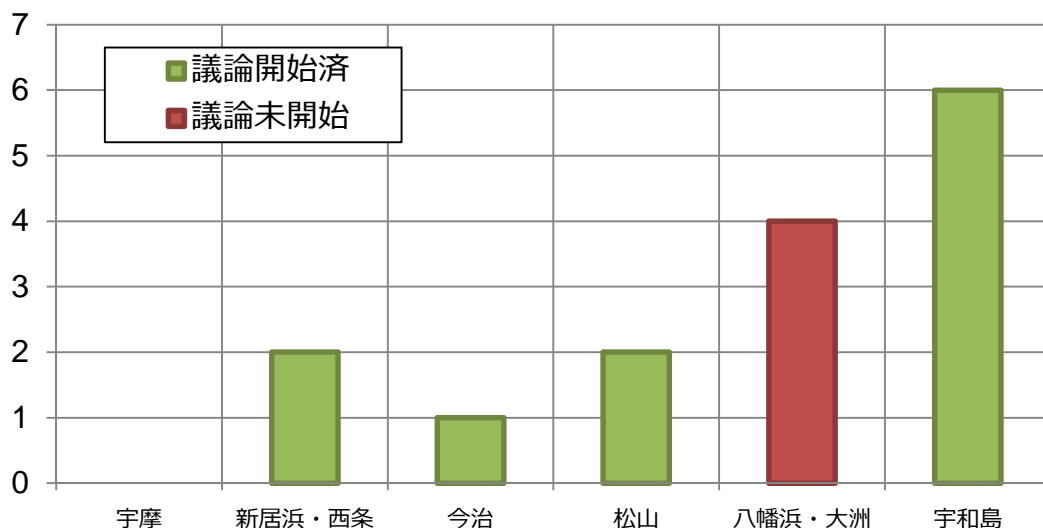


■ 意見交換会等の取組例

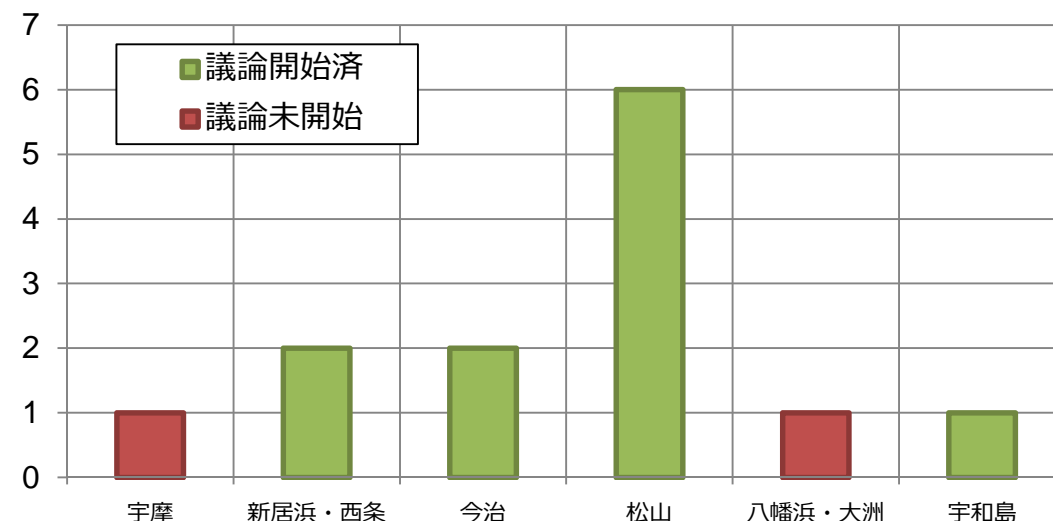
- ・ 情報共有のため、各構想区域内の市町と必要に応じて説明会等を開催
- ・ 調整会議とは別に全県レベルの会議を設置し、全県的視点での議論も実施

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- プランの活用について
協議の進め方

- ・各医療機関からプレゼンし、その後、調整会議委員による意見交換を実施
- ・一部では公的医療機関等2025プランが未策定であるものの、策定中の内容について議論を開始

活用方法

- ・将来に向けた医療機能の分化・連携のため、調整会議で情報共有

スケジュール

- ・29年度内には、全てのプランについて協議を開始する予定
- ・合意に達したプランについても、30年度以降も継続的に協議を行うことを検討中

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

- 調整会議の事務局を各保健所に置き、各地域のニーズに応じた議論ができる体制を整備
- 各保健所職員には、医療計画策定研修会（厚生労働省）に関する説明会を開催
- 病床機能報告のデータについて、医療の実績に着目した集計・分析を検討中（一部実施）

例：病床機能報告マニュアルで各医療機能に関連付けられている特定入院料の算定状況を各構想区域の医療機能ごとに集計

	病棟数	高度急性期		回復期		慢性期		手術総数		全身麻酔の手術総数		高度急性期の算定がない病棟数	回復期の算定がない病棟数	慢性期の算定がない病棟数	手術がない病棟数	全身麻酔の手術がない病棟数
		レセプト枚数 ≒患者数	算定回数 ≒延べ患者数	レセプト枚数 ≒患者数	算定回数 ≒延べ患者数	レセプト枚数 ≒患者数	算定回数 ≒延べ患者数	レセプト枚数 ≒患者数	算定回数 ≒延べ患者数	レセプト枚数 ≒患者数	算定回数 ≒延べ患者数					
高度急性期	60	855	2,444	0	0	0	0	2,343	3,138	1,012	1,319	41	60	60	4	13
急性期	52	0	0	0	0	25	514	942	1,109	325	403	52	52	51	4	22
回復期	14	0	0	617	13,379	12	110	5	5	0	0	14	3	6	11	14
慢性期	47	0	0	0	0	1,260	30,356	32	77	9	53	47	47	19	34	41
合計	173	855	2,444	617	13,379	1,297	30,980	3,322	4,329	1,346	1,775					

- 地域医療介護総合確保基金の活用事業（医療機関等からの要望）は、調整会議において各地域に必要な事業か否かを協議

6 医療機関の再編・統合の参考事例

- ・事例なし

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 各プランの協議について、役割の固定化は避けた方が良いとの意見が地域関係者からあったため、問題がないとしたプランを含め継続的な議論を行いたい。
- 調整会議の委員や地域の関係者に興味を持ってもらえるような情報発信（分析等の資料づくりなど）を考えたい。

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 地域医療介護総合確保基金を活用した事業（医療機関からの要望）は、調整会議で地域に必要な事業か否かを協議しており、引き続き調整会議での議論を通じて、それぞれの地域に適した機能分化・連携の支援に取り組みたい。
- その中で、調整会議が地域のコーディネート役を担えるように事務局（各保健所）の機能強化を図りたい。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 需要(患者)と供給(医療機関)のマッチングに重点を置いた施策を検討していきたい。
⇒県独自アンケートを実施し、在宅患者対応可能数を調査したところ、現時点での体制である程度の追加対応が可能であるという結果となったため。(対象：保険医療機関、質問項目：訪問診療・往診の実施有無、訪問診療患者数、追加可能患者数)